

平成維新を実現する都民の会第19回運営会議議事録

※敬称略（記録・文責：杉原健児）

【日時】1996年1月7日（火）18:40～21:20。

【会場】新宿区立リサイクルセンター4階。

【出席】阿部悠逸・浦上登・江頭清昌・小田武史・小俣一郎・梶原光恵・小枝尚・佐藤鶴次郎・澤井正治・杉原健児・門叶和雄・長妻昭・治田桂四郎・古木毅彦・宮武富士夫・山本竜司・六角年成、以上17名。

【配付資料】

- 1) 1月度「平成維新東京」運営会議議題（阿部）
- 2) 平成維新を実現したいと考えてる皆様（治田）
- 3) 皆様へのお願い（治田）
- 4) 梶原私案（梶原）
- 5) ネクスト／未来の風・基本政策（六角）

【回覧資料】

- 1) いしん埼玉市民の会会報／平成維新千葉B.T.／維新プレスKANAGAWA（杉原）
- 2) 全国地域活動ニュース（林→杉原）

【議 事】（司会：阿部）

【1】江頭代表から年頭の挨拶があった。

【2】前回議事録案が確認され原案通り承認された。

【3】江頭代表より再度、副代表を下記4名にお願いした旨の説明があり、皆に協力を願った。

阿部悠逸・杉原健児・治田桂四郎・山崎康彦

【4】杉原より「各区のエリアマネージャー」の確定状況の説明があった後、未確定の1区・3区は本会で決定した。以下、確定状況を記す。

1区佐藤鶴次郎・2区神村知行・3区澤井正治・5区治田桂四郎・6区阿部悠逸・7区小俣一郎・8区大山悦男・9区峰岸秀充・10区仲野忠之・11区杉原健児。なお、未確定の4区は山崎氏欠席の為、次回決定に持ち越した。

【5】出席している各エリアマネージャーから「各エリアの新年の抱負」「会員拡大の具体策」等についての意志表明があった。なお、他の出席者全員からもそれぞれ抱負や意見の発表をして頂いた。

【6】治田氏より「協賛会」募集のお願いがあった。1口・2000円。現在、江頭清昌氏が25口、阿部悠逸・杉原健児・治田桂四郎・山崎康彦の各氏が15口の納入を予定している。

【7】都議選への対応について

(1)阿部氏より副代表会議での議論が説明された後、意見交換を行った。今後も継続する。

◆主な意見→地元会員の推薦が条件である／候補者を一人に絞りたい／候補者を多数出した

い／企業団体献金を貰う候補を推薦すべきではない／資金が無ければ勝てない→小額で献金者の質が良ければ構わない／経費をガラス張りにすべきだ。

(2)佐藤氏より「会員用」と「候補者用」の2種類のアンケートを作成中との説明があった。

【8】杉原より会報についての協力願いがあった。

【9】梶原さんより以下の私案提案の説明があった。
――（始まり）――

【梶原私案】

江頭さんが再選されて半年になりますが、会は会員の総意と遊離していないか、私なりに心配でなりません。

新しい会則改定案もエリアマネージャー等の役員で運営会議は構成されています。総会も出席できなければ、投票権はないのです。

国の政策でも大事な政策に関しては国民の直接投票を導入すべきだという考えが、新しい意識を持った市民層に既に浸透してきているのに、ピラミット式のやり方では、新しい市民の集りである都民の会が時代遅れだと思います。投票も、海外の日本人の投票権と同じく、手紙かメールでも受け付けるべきです。運営会議は原則会員全てが構成員で、役員は必ず出席する義務を負うという考え方です。

しかしこの私の私案を押しつける積もりはありません。私の希望は生活者通信に掲載し、会員の総意を計ることです。運営会議で適当に決めてくれというなら、それでいいのです。会員のそれが総意であるなら。

ただ、現状で役員でない会員が運営会議に出席しても、お客さんのような気がすると思います。

エリアマネージャーや役員の顔写真位、生活者通信に載せた方がいいと思います。私は会員に発奮してもらいたいのです。

――（終わり）――

上記「私案提案」の説明を受けて討論を行った。

◆主な意見→運営会議に権限が集中し過ぎている／重要なことは会員全員で決めるべきだ／常に全員で決めていたら衆愚政治になる／運営会議はオープンで誰でも出て発言出来るのだから今のままで良い／会報にエリアマネージャーや役員の顔写真位は載せても良い／この会は大前さんに共鳴して入っているのであるから余り個人